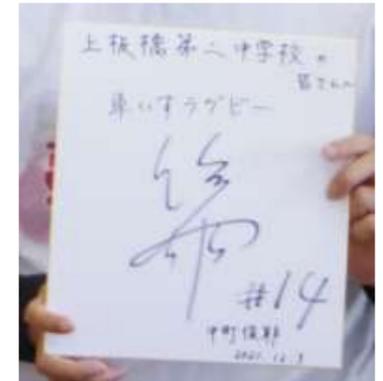


夢未来プロジェクト (12月3日)

パラリンピックの車椅子ラグビー選手の中町俊耶選手がいらっしゃいました。



校長先生と事務局の方々と打ち合わせをした後に、中町選手からサインを色紙に書いていただきました。場所を移動して、記念撮影をしました。その際に、メダルも一緒に撮影していただきました。校長先生も感激しきりでした。学校訪問は本校を入れて2校目で、前は小学校を訪問したそうです。中学校は我が上二中が第一号とのことです。



はじめに、車椅子ラグビーの紹介動画を視聴した後に、講師の中町選手の紹介を伊藤先生からしてもらいました。その後、9年生からの質問に答えるトークショースタイルで車椅子ラグビーや中町選手のこれまでに知る時間となりました。車椅子のつくりや操作方法、車椅子ラグビーのルールの説明を受けました。



伊藤先生と中町選手の体育館半周スピード勝負をしました。体育科の伊藤先生は35秒！速いとわかる速度でしたが、中町先生の一漕ぎのスピードは比になりませんでした。



伊藤先生
一周 35 秒でした。

中町選手、一周 15 秒でした！
さすが、パラ選手は違いますね。



各クラスからの質問を中町選手が回答するトークショーでは、車椅子ラグビー以外の内容や事故から厳しいリハビリを経て、スポーツ選手になるまでのお話をしてくださいました。中町選手の車椅子は150万円もするそうです。



実際に車椅子に試乗し、操作を体験しました。見るのとやるのでは違います。中町選手の車椅子指導は、とてもわかりやすく体験が終わる頃には上達していました。弓削田先生も挑戦してみました。



車椅子に試乗する前の説明場面です。より、中町選手を間近に接する機会になり、みんな嬉しそうです。ちなみに試乗した車椅子は40万円するものだそうです。



メダルとメダル収納ケース、その収納ケースを入れる箱です。この収納ケースと箱は2020東京大会でのもので、今まではメダルのみ授与されていたそうです。



車椅子体験が終わると、出入り口(中町選手とメダルゾーンになっているところ)でお礼をして教室に帰りました。女子の「イケメン、きゃー」の黄色い声はどのクラスも毎回あがりました。男子からも「かっこいい～」と聞こえてきました。



A 組



B 組



C 組

